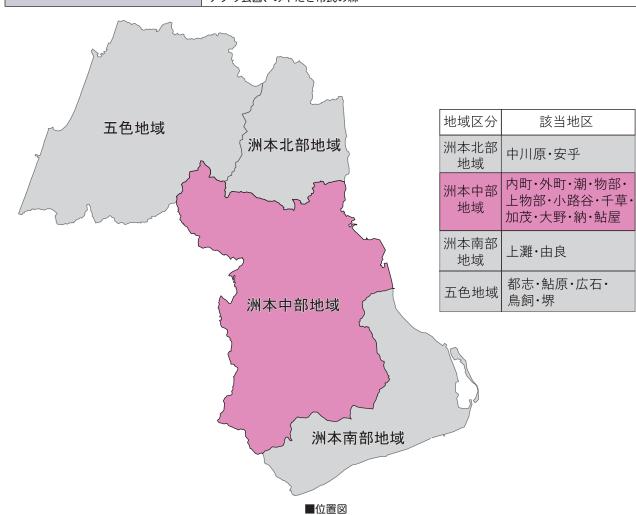
5 2 洲本中部地域

(1) 地域の情報

■洲本中部地域の情報

	高速道路,IC	神戸淡路鳴門自動車道、洲本 IC		
	一般国道	国道 28 号、国道 28 号洲本バイパス		
道路	主要地方道・一般県道	主要地方道洲本五色線、主要地方道洲本灘賀集線、一般県道広田洲本線、一般県道鳥飼浦 洲本線、一般県道洲本西淡線、一般県道上内膳塩尾線、一般県道洲本松帆線、一般県道畑 田組栄町線、一般県道相川下清水線		
	その他の主な道路	市道物部曲田塩屋線(内環状線)、市道小路谷千草線、市道宇原千草線、市道外環状線(仮 称)、市道加茂中央線、南淡路広域農道(オニオンロード)		
主要な施設		洲本市役所、洲本高速バスターミナル、兵庫県洲本総合庁舎、洲本防災センター、防災拠点(スポーツセンター)、県立淡路医療センター、洲本市文化体育館、洲本図書館、洲本市健康福祉会館(みなと元気館)、洲本市総合福祉会館(やまて会館)、洲本警察署、洲本税務署、神戸地方法務局洲本支局、淡路広域消防事務組合洲本消防署		
文化財・観光資源		洲本城跡、炬口城跡、旧益習館庭園、金天閣(洲本八幡神社)、先山千光寺、太子堂(蓮光寺)、 洲本温泉、大浜海水浴場、サントピアマリーナ、鮎屋の滝、鮎屋川ダム、旧紡績工場跡、 淡路文化資料館、洲本厳島神社、洲本奥畑のメグロチク		
自然、公園		三熊山 (瀬戸内海国立公園)、先山 (瀬戸内海国立公園)、兜布丸山、柏原山、大浜公園、アグリ公園、みやたき市民の森		



(2) 地勢

本地域は、市域の中部に位置し、西は南あわじ市、東は大阪湾に面しています。

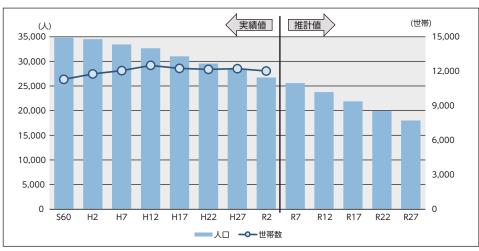
洲本川沿いに発展した中心市街地と、周辺住宅地及び郊外部の農地で構成されています。

地域内の北西部を神戸淡路鳴門自動車道、臨海部を(主)洲本灘賀集線が縦断し、国道28号、(一)洲本松帆線が横断しています。また、市街地を外環状線である国道28号から宇原、千草、小路谷地区を経て主要地方道洲本灘賀集線に連絡する区間と、内環状線である都市計画道路物部曲田塩屋線、及び内環状線と外環状線をつなぐ路線として、山神線の道路計画が検討されています。

(3) 人口・世帯数及び将来人口の推移

市内で人口・世帯数が最も多い地域ですが、人口は減少傾向にあり、世帯数においても平成 12 (2000) 年より減少しています。

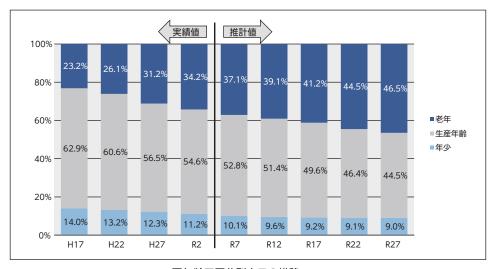
特に、本地域の中で最も高い割合を占める生産年齢人口が、市外へ流出し、減少してきていることに起因していると考えられます。



■人□・世帯数の推移

出典:実績値;国勢調査結果

推計値;国立社会保障・人□問題研究所(平成 30(2018)年)推計結果



■年齢三区分別人□の推移

出典:実績値;国勢調査結果

推計値;国立社会保障·人□問題研究所(平成 30 (2018) 年)推計結果

(4) アンケート結果概要

	·定住意向割合: <u>約 61%</u> (全市:約 60%)
人口	・住み心地に対する満足度: 「若者が定住しやすいまちづくりの推進」において不満の割合: 83.0% (全市: 83.4%) ◆
	・人口減少高齢化の進展:「空き家や空地が増加する」 <u>56.7%</u> (全市:57.7%) 🖶
	・まちづくりに重要なこと:「若者が定住しやすいまちづくりの推進」 9割超 (全市:9割超)
	・転出する(したい)理由:「働く場所がない」 <u>28.4%</u> (全市:28.2%)
産業	・淡路島中央 SIC 周辺の土地利用:「観光交流施設の設置(<u>35.8%</u>)(全市:38.3%)」 単 、「企業の誘致(28.7%)(全市:26.4%)」 金
	・住み心地の満足度:「空き家・空き地」で不満割合: <u>84.2%</u> (全市:84.5%) 🖶
土地利用	・「大規模未利用地の活用」で不満割合:76.7%(全市:78.5%) 🖶
	・土地利用の進め方:「市街地の空き地などを有効利用する」 41.5% (全市:36.8%) 1
	・転出する(したい)理由:「生活が不便」 <u>48.1%</u> (全市:56.5%) ◆
建築施設分布	・徒歩で行ける範囲で充実させたい施設:「食料・日用品店舗(<u>39.7%</u>)(全市:42.1%)」 → と「診療所、医院(<u>26.9%</u>)(29.4%)」 →
都市施設	・住み心地に対する満足度:「都市施設(河川、公園、道路)の維持」で満足割合 <u>45.0%</u> (全市: 43.1%) 金
	・30 代の <u>47.3%</u> (全市:40.0%)が「公園、緑地」を徒歩圏で充実させたい施設 👚
防災	・まちづくりに重要なこと:「防災(耐震・避難場所等)」、「治水対策」(<u>9割超</u>)(全市:9割超)

(5) 地域の課題

- ・本市のみならず淡路島の中核としての都市機能が集積していますが、中心市街地の商店街は衰退傾向にあり、空 き店舗の増加が進んでいます。
- ・市街地を中心に DID が形成されているものの、DID 面積の拡大と人口減少により人口密度が低下し続けていることから、本市で最も利便性の高い本地域への居住誘導が必要となっています。
- ・用途白地地域である大野地区、千草地区など郊外に宅地化が進展する一方で、中心部の人口減少が著しく、多くの空き家や空き地が発生するなど、中心市街地の空洞化の進行が懸念されます。特に市街地の空き家化した老朽住宅は、一部倒壊の危険があるため対策が必要となっています。
- ・小路谷千草線や物部曲田塩屋線など、中心市街地の重要な環状道路であることから、未着手区間の早期整備を進める必要があります。
- ・大野地区、千草地区など宅地化が進展している郊外は、一体は公共交通空白地になっており、その解消が必要です。
- ・高齢化による農家の担い手の不足、耕作放棄地の増加、鳥獣被害などが深刻な問題となっています。
- ・洲本川の河川改修は完了していますが、市街地には依然洪水の浸水想定区域が残ったままとなっており、居住誘導に向けて、水害リスクの低減のためハード、ソフト施策の検討が必要となっています。
- ・高齢化に伴い、町内会の祭事等の維持や、消防団員の活力低下のための対策が必要となっています。

(6) 地域の将来像

淡路島の中心拠点にふさわしいまちづくり

(7) 地域づくりの基本方針

1) 土地利用の方針

- ・洲本川河口部・洲本港周辺の市街地では、商業・業務・医療・福祉・公共機能などが集中する利便性の高さを最大限に活用し、本市の中心市街地としてだけでなく淡路島の中核として、一層の機能強化・再整備を図ります。
- ・空洞化の抑制と都市機能の充実・更新を図り、交通利便拠点との連携を強化し、地域の実状をふまえながら、計画的な市街地の整備を図ります。
- ・空き家については、空き家空き地の情報発信を推進します。また、空き家を除却していくことだけでなくゆとり ある暮らしのための活用などを検討するとともに、危険な空き家については適正な管理に向けた指導を行いま す。

2) 道路・公共交通の方針

- ・古茂江港周辺では自然環境を保全しつつ、交流空間としての利用を推進します。また、生活道路など公共施設の 計画的な整備を進め、住環境の向上を図ります。
- ・神戸淡路鳴門自動車道については、洲本 IC を核として、京阪神方面や四国方面との連携の強化を図ります。
- ・国道 28 号沿道では、円滑な交通の確保と周辺環境に調和する沿道サービス機能の充実を図ります。
- ・主要地方道洲本五色線、一般県道鳥飼浦洲本線は、洲本地域と五色地域とを結ぶ重要な路線であるため、維持・整備を進めることで、一体の都市としての発展を目指し、地域間の連携を図ります。
- ・小路谷千草線、宇原千草線、加茂中央線や物部曲田塩屋線などは、中心市街地の重要な環状道路であることから、 未着手区間の早期整備を進め、円滑な市街地の交通環境を形成します。
- ・竹原地区周辺については、交流人口流入による道路混雑時の安全対策などを検討します。
- ・千草地区など、公共交通空白地の解消・減少に向け、市民ニーズに合致した移動手段の路線検討とともに、新しいモビリティの導入による活性化支援や周遊観光行動に対応した移動手段の整備を検討します。
- ・ネットワークの連続性の観点から、アワイチルートの整備を目指します。
- ・洲本港は、大阪や和歌山方面の玄関口として、大阪湾地域との航路再開の検討とともに、親水空間や賑わい空間 の活用・活性化を推進します。また、古茂江港は、サントピアマリーナの有効活用を促進し、海洋レクリエーションの交流拠点としての機能維持を努めます。

3) 公園・下水道等の整備方針

- ・公園等は、災害時の避難場所としてだけでなく、心と体の健康を保ち、感染症の拡大を防ぐなど、公衆衛生の観点からもより一層重視されつつあるため、地域住民と連携しながら、維持管理の強化に努めます。
- ・都市計画決定された大浜公園は美しい景観と調和した公園整備を行い、広域的なレクリエーション施設として活用します。

4) 市街地整備の方針

- ・密集市街地の改善や中心市街地の空き家・空き地の利活用によって土地利用の集約を行い、利便性の高いまちな か居住を促進し、空き地を活用したゆとりある暮らしを実現します。
- ・魅力ある企業の誘致を進め、雇用の創出を図ります。特に、洲本 IC 周辺への企業誘致においては、近隣環境と 調和した、計画的な土地利用を推進するとともに、産業・流通、グリーンツーリズム等の機能強化及び沿道商業 機能の充実とともに土地活用のあり方を検討します。
- ・まちの回遊性の確保のための基盤整備等を検討します。
- ・公設市場付市営住宅の跡地の活用について検討します。

5) 自然環境等の保全の方針

- ・加茂・納地区、大野・鮎屋地区では農業生産基盤の整備を進め、優良農用地の確保・保全を図ります。また、自然と共生する快適でゆとりある住環境の維持・創出による良好な集落景観を形成し、多自然居住の推進により地域の活性化を図ります。
- ・豊かな自然を枯渇させることがないよう、市街地内外において環境負荷が少ないまちづくりを進めます。
- ・先山周辺や三熊山・柏原山周辺では、多面的機能の持続的な効果発揮の促進やすぐれた自然環境や歴史的風土を 活かし交流空間としての利用を図ります。
- ・炬口漁港周辺、大浜海岸から古茂江港に至る臨海部では、海域と陸域が一体的に調和した良好な自然環境を活かした交流の場としての活用を推進します。特に、放置ごみに対する対策を強化します。
- ・風致地区指定エリアを中心に、樹林地、水辺地などで構成された良好な自然的景観の維持を図ります。
- ・農地を維持するため、鳥獣害対策の強化や担い手の育成などに加え、農地の集積・集約化を推進します。また、 他業種との連携を図りながら農村地域のコミュニティ維持に努めます。

6)景観形成の方針

- ・炬口漁港周辺から洲本港周辺、大浜公園から洲本温泉付近、サントピアマリーナでは、海や山の景観を活かした リゾートやレクリエーションの場として明るく活気のある街なみ景観の形成を図ります。
- ・美しい田園景観を保全するため、太陽光発電施設などの設置においては基準に基づいて地域との調和を図ります。

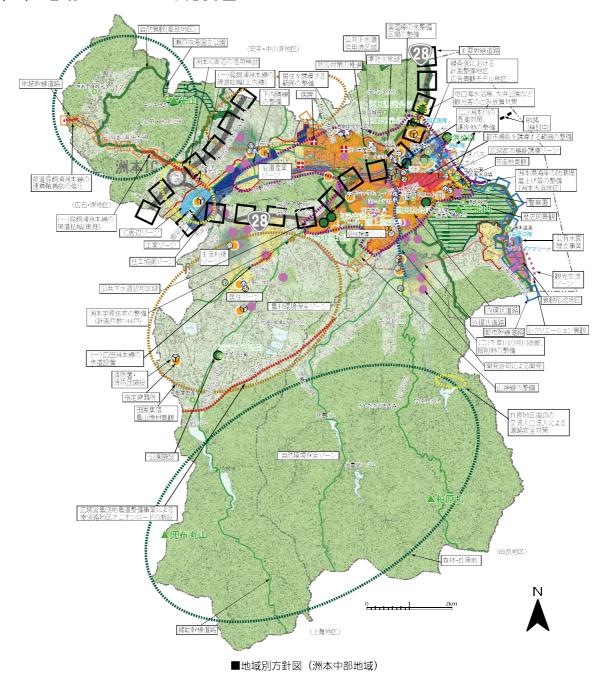
7) 安全安心の方針

- ・可能な限り、災害リスクの低い区域への居住を誘導するとともに、災害リスクの高い地域においては、土地利用 規制等を検討するなど、適切な土地利用を図りつつ、都市の防災性の向上に努めます。
- ・災害リスクの高い中心市街地においては、住宅の耐震性向上の支援や危険空き家の除却、防災拠点や延焼遮断帯となるオープンスペースの整備など、都市基盤整備を推進します。避難地や避難路の確保、消防施設の整備を行うなど、ハード・ソフトの施策を柔軟に組み合わせた安全性の確保に努めます。
- ・地域に多数存在するため池について、防災対策を推進します。
- ・指定緊急避難場所及び指定避難所では、必要な防災機能の確保に向けた取組を進めます。
- ・ハザードマップなどを活用し、災害時の危険性が高い地域や、避難方法などに関する情報提供及び意識啓発に取り組みます。また、地元消防団等との協働による防災・減災対策を推進します。
- ・自主防災組織の強化に取り組みます。
- ・身近な生活道路の整備や適切な維持管理を図るとともに、歩道、通学路の整備や幹線道路の整備を促進し、生活 道路への流入車両の抑制を図ります。
- ・カーブミラーについては、その維持管理に努めることに加え、新たに認められた箇所や、見通しの悪い箇所については随時設置を進めます。あわせて、街灯の維持管理を徹底するなど、交通安全施設の整備を推進します。
- ・感染症対策のための、新しい生活様式に対応したまちづくりを検討します。

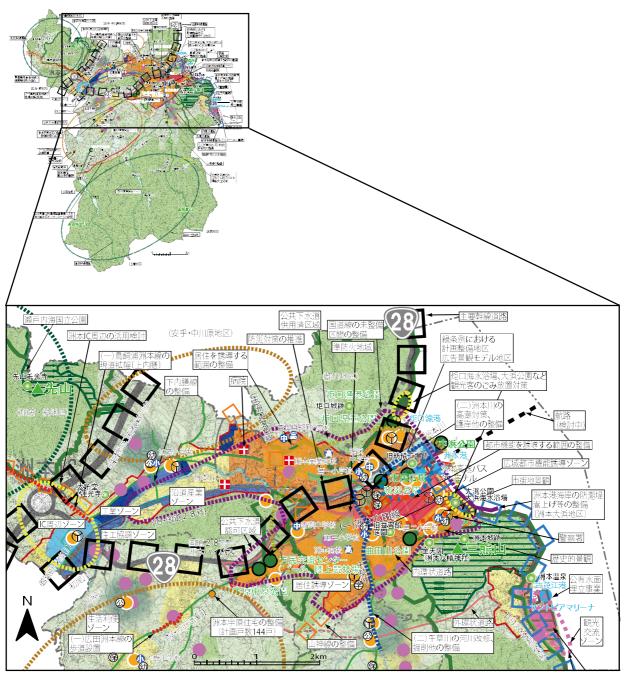
8) その他まちづくりに関する方針

- ・公共施設や遊休地等の既存ストックを活用し、民間企業等の人材やノウハウを活用するなど、活用可能な資源を 総動員し、効率的なまちづくりを推進します。
- ・行政、企業、住民の協働による、新しい時代のまちのマネジメントを目指します。
- ・町内会組織の活性化に取り組みます。
- ・大学生、地域おこし協力隊や企業との協働によるまちづくりを推進します。

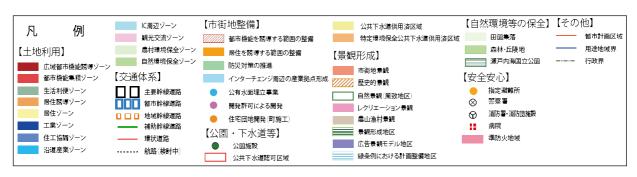
(8) 地域のまちづくり方針図







■地域別方針図(洲本中部地域・中心部拡大)



■洲本中部地域におけるおおむね 10 年以内に整備を予定している主な事業等

道路整備

路線名	事業場所		概要
(国) 28号	洲本市炬口~宇山	バイパス	L =2.4km、W=16 m(2 車線)
(一) 鳥飼浦洲本線	洲本市奥畑~上内膳	現道拡幅	L =1,200m (2 車線)
(一) 鳥飼浦洲本線	洲本市上内膳	現道拡幅	L =500m (2 車線)
宇原千草線	洲本市上物部~千草	バイパス	L = 1,190m、W=10.0 m(2車線)
宇原猪鼻線	洲本市千草~上物部	現道拡幅	L = 1,080m、W=10.0 m(2車線)
小路谷千草線	洲本市小路谷	現道拡幅・バイパス	L = 640m、W=10.0 m(2車線)
加茂中央線	洲本市宇山	現道拡幅	L = 130m、W=12.0 m(2車線)
下内膳線	洲本市桑間~下内膳	バイパス	L = 380m、W=11.0 m(2車線)
山神線	洲本市上物部	現道拡幅	L = 980m、W=12.5 m(2車線)
納長手線	洲本市納	現道拡幅	L = 160m、W=4.0 m(1車線)

農道整備

路線名	事業場所	概要	
広域営農団地農道整備事業	南あわじ市阿万上町~	農道新設	L = 17,000m(2 車線)
(南淡路地区 オニオンロード)	洲本市千草		

交通安全施設

路線名	事業場所	概要	
(一) 広田洲本線	洲本市 大野	歩道設置	L =400m、片側

海岸整備

名称	事業場所	概要	
洲本港海岸 (大浜地区)	洲本市海岸通	防潮堤嵩上げ等	L =0.8km

河川整備

			
事業種別	事業場所	概要	
河川	(二) 千草川	河川改修	L =2,500m 掘削 他
河川	(二) 洲本川	高潮対策	L =500m 護岸 他

下水道整備

事業種別	事業場所	概要
下水道	潮地区	汚水整備
下水道	桑間地区	汚水整備
下水道	桑間地区	雨水整備

公共交通

事業種別	事業場所	概要
公共交通網	洲本市千草	地域内交通の導入
公共交通網	洲本市大野	地域内交通の導入
公共交通網	洲本市鮎屋	地域内交通の導入